



☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆ 2018年

新しい年、新学年へ向けて…
厳しい冬、でも少しずつ日差しは明るく、日も長くなりました。
NPO法人CPAOは、皆さまの陽光のような温かな心に包まれ
活動を続けさせて頂いております。
今回は、今冬の活動をご報告させていただきます。

☆☆ CPAO つうしん [第5号] ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

海外からお心寄せ

12月12日(火)
子どもたちを想う気持ちに
距離はない!
長年支援してくださっている海外の方より
お心寄せが届きました。「海外なんて、テレビの中だけと思っていたのですが、海を越えて届く荷物を見て、身近に感じました。子どもたちを想う気持ちに距離はないですね」と、あるお母さんがしみじみと。

地域サポーター会議を開催

12月13日(水)
黒豆がたくさん入った箱を抱え、地域の市場の方々が、お越しくださいました。
少しでも子どもたちにおいしいものを食べさせたいと、食材のご協力をいただけることになりました。また、今後のことも、ともに考えてくださることに。CPAOの活動は、すべて制度外自主事業。たくさんの方々のお心寄せで成り立っています。

遊具のご提供

12月14日(木)
以前よりお世話になっております「生野みんなの家」さんから、遊具をお譲りいただきました。
子どもたちは、すべり台として一通りすべった後は、新しい遊び方を考え出し、大はしゃぎ!。



にぎやかなクリスマス会

12月23日(土)
待ちに待ったクリスマス会。この日のために子どもたちは、だしものや食事のメニューを考えていました。
初めて来てくれた子もいて、みんなでダンスを踊ったり、高校生の子が自作の道具を使い科学教室をしてくれたり、ピアノ部の子たちは緊張しながらもピアノを弾いてくれました。夕方からはお料理コンテスト。

チームに分かれ一品づつ作ります。わずか1点の僅差で、1位はローストチキン! 2位にはツリー・ポテト。
「負けたー」「次は勝つ!」
来年のクリスマスがいまから楽しみです。



居場所に来れないかたに配食を

12月27日(水)
近隣のお母さん方もお集まりくださり、朝から、寄せ鍋用の具材を下ごしらえ。
体調が悪かったり、お母さんの仕事が忙しかったりして、居場所に来れない子どもたちや、ご家族の方々に、心もカラダもあたたかくなってもらえたら。お心寄せいただいたお菓子や雑貨も準備し、スタッフが各ご家庭を回りました。



正月の準備 門松も、お節も



12月28日(木)
和歌山県橋本市に新しくできたランチ(支部)は年末年始の「お泊まり」に向けて大掃除。お正月飾りの準備で、門松づくりに挑戦!
平行して大阪市生野区の拠点(ファクトリー)ではお節づくり。

大学で栄養学を教えておられるボランティアの方のご指導で、お節の一つひとつの意味を教えていただきながら、子どもたちも一緒につくりました。大事なことを、次世代に伝えられることに感謝しています。

NPO法人CPAOとは (CPAO) しはお [C=Child・子ども PAO=助け・家]
子どもには「自分で育つちから」があります。そのちからを様々な原因で奪われている子どもたちがいます。私たちは同じ思いを持っていらっしゃるかたがたと共に、「子どもの育ちをサポート」できる社会を目指し、活動を続けています。

わたしたちの活動 2013年5月24日、「最後におなかいっぱい食べさせられなくて、ごめんね。」といった遺書のようなメモを残し、大阪市北区で発見された母子の変死事件。わたしたちは、翌日から子ども支援関係者と共に活動を始めました。聞き取り調査や夜回りなどを行い、数多くの精神的にも経済的にも厳しい状況に置かれ、孤立した親子らと出会い、「まずは、ごはん!」を中心に、子ども一人ひとりのニーズに応えながら活動を展開しています。
今、「育ちの社会化」を実現させるため、実践は「NPO法人CPAO」・政策提言は「大阪子どもの貧困アクショングループ」が担い、両輪で活動しています。





年越しツアー

12月29日(金)～2018年1月2日(火)
子どもたちと一緒に「たつみファクトリー」や「はしもとランチ」で過ごすことができました。

4回目を迎えたこの年越しツアー。子ども、みんなが気楽に過ごせる温かいものになってきています。お泊り初日はファクトリーで、2日目からは、はしもとランチ。里山に行っては山遊び、海まで行けば浜辺で砂遊び。

みんなで風を作り。河原の広場へ。この場所が大正解。風はぐんぐん100mほど上がり、なんと爽やかな風上げとなりました。

はしもとに遠足 「雪遊び」と「とんど焼」

2018年1月13日(土)

しめ縄や門松を燃やす、とんど焼き。
大きな煙を、驚きながら見上げる子。

とんど焼きの火で焼き芋です。アルミに包んで火に入れ、甘くておいしい焼き芋が完成。きょうだいたちへの「おみやげ」と、持って帰っていく子もいます。ある子が、空を見上げながら、「あの雲は、地球の中にあるの？外にあるの？」と。おもしろい質問だなあと考えて答えたら、どンドン質問があふれてきて、答えが追い付きません。こういう時の子どもたちを見るとワクワクします。



ハプニング誕生日会



2018年1月27日(土)
お心寄せでいただいたお米やお菓子を、お母さんや子どもたちとともに、宅配のために小分け作業。

17時頃になり、晩ごはんの準備を始める頃、いつも手伝ってくれている高校生の男の子の誕生日であることが発覚！

突然でしたが、調理ボランティアの方が素敵なケーキを作ってくださいました。ピアノ部の先生の伴奏にあわせてハッピーバースデー！

「恥ずかしい。こんなのやってもらったのはえっと、小学生以来かな」とうれしそう。普段から協力してくれる彼。就職も決まりもうじき社会人。きっと彼にとって良き思い出として残ってくれるのではないかと思います。

鬼は一、外！

2018年2月3日(土)

みんなで恵方巻き作りにチャレンジ。好きな具材をえらんで巻いていきます。

恵方巻きを食べたあとは豆まき。元気いっぱいに豆をまく子どもたち。鬼もきつと逃げ出していったと思います。



進級と新事業に向けて

進級・進学シーズン。子どもたちの未来を更に支えていくことが出来るように、大きくなっていく子どもたちに相応しい新事業も計画しております。サポートへのご協力を、本年もよろしくお願い致します。



志垣 瞳

スタッフ・ボランティアの声

私にとってのCPAO

CPAOの食事作りに約3年ほど関わらせていただいています。多くの皆様から頂くお心遣いの食材をもとに献立を考え、調理します。今はスタッフのお一人が在庫食材をもとに献立の柱を考えてくださるので、大変調理しやすくなりました。ご厚意でお送りいただく食材を「日常食」に、「行事食」にとフルに活用しながら、どのような料理にして子供たちの「おなか」も「心」も満たしてあげることが私たちの大事な役目と思って頑張っています。

元気に遊ぶ子どもたちが、時折折台所からのにおいに引き付けられて様子を見に来たり、「何かお手伝いすることはありますか」と手伝いに来たり、一瞬静かに食べ始めたと思ったら、「おいちーい」という声が聞こえてきたり。調理冥利に尽きます。

ご飯を中心に汁三菜もの栄養の整ったおいしい料理が毎回用意されているので、週3回の食堂は子どもたちの成長に大きな役割を果たしています。子どもたちの元気を分けてもらいながら、これからも頑張りたいと思います。

寄付による支援のお願い

CPAOの活動は、皆様のお心寄せに支えられています。子どもたちをサポートするためのご寄付をお願いします。

(個人情報は、「CPAOつうしん」の郵送など、本法人の活動目的にのみ利用するものとし、その他の目的には利用しません)

【銀行振り込みの場合】

三菱東京UFJ銀行 生野支店 普通預金
□座番号：0135871
□座名：エヌピーオーハウジンシーパオ

振込手数料は大変恐縮ですがご負担頂けますようお願いいたします。

【クレジットカードの場合】

CPAOではクレジットカード決済による寄付を受け付けております。

携帯・スマートフォンの場合はQRコードへ→
PCからは下記URLへ↓

<http://cpao0524.org/wp/archives/445>



お手数ですが、ご寄付金額・お名前・ご住所・メールアドレスを「kanri@cpao0524.org」まで、お送り下さい。